

<https://www.wellsfargojobs.com/en/wells-fargo-drug-and-alcohol-policy/>

米国 ウェルズ・ファーゴ社の薬物およびアルコールに関するポリシー

ウェルズ・ファーゴは薬物のない職場です

ウェルズ・ファーゴは、薬物のない職場を維持することに専念しています。すべての従業員は、違法薬物、マリファナ、アルコール、または合法物質の不適切な使用によって損なわれることなく職務を遂行することが求められます。従業員は、アルコールや薬物によって障害がある場合、就労または出勤することを禁じられています。

重要事項 1:

従業員は、自分の行動と決定に対して説明責任を果たすことが期待されています。アルコールや薬物の使用により就労に適さない従業員は帰宅させられる可能性があり、その結果、解雇を含む是正措置が取られる可能性があります。

薬物のない職場:

ウェルズ・ファーゴでは、違法薬物、または合法薬物の勧誘、配布、または乱用を一切容認しません。連邦請負業者として、ウェルズ・ファーゴは連邦法を遵守しなければなりません。物質は特定の州では合法である場合がありますが、連邦法の下で違法な物質である場合、ウェルズファーゴの職場に持ち込むことはできません。

重要事項 2:

違法薬物、精神に影響を与える、または処方されていない規制物質の販売、購入、製造、調剤、配布、所持、または使用、または規制物質の非処方の使用は、会社の敷地内、仕事関連の活動中、または会社の事業を行っている間は禁止されており、雇用の即時終了の原因となります。さらに、会社の敷地内で見つかった違法薬物は、さらなる調査のために外部の法的機関に引き渡すことができます。

アルコール:

アルコールの使用は合法かもしれませんが、従業員がアルコールの使用によって障害を受けた場合、会社の業務中に運転するなど、職務を遂行することは禁止されています。従業員は、会社が主催するイベントでアルコールを摂取している場合でも、アルコールの使用が認められている顧客やその他の非従業員と取引を行っている場合でも、プロフェッショナルな行動、ハラスメント、暴力のない職場に関するウェルズファーゴのポリシーを遵守する責任があります。また、従業員は、このような状況でアルコールを摂取した場合、安全な交通手段を使用する責任があります。

会社敷地内のアルコール

ウェルズ・ファーゴの敷地内での飲酒は、ウェルズ・ファーゴが主催する一部のイベントでのみ許可されています。 イベントでのアルコールの提供は、イベントを主催するビジネスグループの責任者によって承認される必要があります。 従業員がアルコールを提供するイベントを計画している場合は、Risk & Insurance Management サイトで特別イベントのアルコールガイドラインを確認する必要があります。

資格のあるすべての応募者は、人種、肌の色、宗教、性別、性的指向、性同一性、国籍、障害、保護された退役軍人としての地位、またはその他の法的に保護された特性に関係なく、雇用の検討を受けます。

© 2024 ウェルズファーゴ 無断複写・転載を禁じます